エコアクション２１　環境経営レポート

２０２４年度
（２０２３年9月１日～２０２４年8月３１日）

株式会社　エスプレス大分

２０２４年１２月３０日　発行

目　　次

1．組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（1）事業者及び代表者
（2）所在地
（3）環境管理責任者氏名及び連絡先
（4）事業活動の内容
（5）事業の規模
（6）許可の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～3
（7）積替保管施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（8）運搬車両の種類と台数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（9）処理施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（10）廃棄物処理フロー図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

3．環境管理組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

4．環境目標
（1）本社工場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（2）広島支社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

5．環境経営目標の実績
（1）環境への負荷の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（2）受託した廃棄物の数量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

6．環境経営目標の取組結果とその評価、次年度の取組内容
（1）本社工場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～13
（2）広島支社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

7．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無・・ 15

8．代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

9．環境への取組の記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

１．組織の概要

（１）事業者及び代表者氏名

株式会社　エスプレス大分　　代表取締役　　尾形　嘉博

（２）所在地

本社工場（積替保管庫含）　大分県大分市大字下郡字向新地３７２０番地の１
広島支社　広島県広島市中区東千田町１-３-１１　アオイビル２Ｆ
広島支社（積替保管庫）　広島県安芸高田市向原町戸島字具路８８１番地１

（3）環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者　　串山　雅孝
連絡先　　TEL：097-569-2482　　FAX：097-554-6651

（4）事業活動の内容

本社工場
　産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬と中間処理
広島支社
　産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬

（5）事業の規模

創　立　　1970年3月16日
資本金　　2,750万円
売上高　　450,785万円（2024年度）
従業員数　　本社工場　　19 人
　　広島支社　　8 人
本社工業敷地面積　　4,500 平方メートル
広島支社保管庫面積　　699 平方メートル

（6）許可の内容

許可名称	許可番号	許可年月日 有効年月日	許可内容	許可者
産業廃棄物処分業 （優良認定事業者）	08820005072号	令和4年2月21日 令和11年2月16日	中間処理（破砕・固化・中和・脱水・焼却） 汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	大分市
特別管理産業廃棄物処分業 （優良認定事業者）	08870005072号	令和4年9月24日 令和11年9月23日	中間処理（固化・中和・焼却） 汚泥・燃え殻・ばいじん・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・感染性廃棄物	大分市
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	08810005072号	令和4年2月21日 令和11年2月16日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	大分市
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04402005072号	令和2年2月17日 令和9年2月16日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	大分県

許可名称	許可番号	許可年月日 有効年月日	許可内容	許可者
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	03400005072号	令和3年4月4日 令和10年4月3日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	広島県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04000005072号	令和3年2月8日 令和10年2月7日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	福岡県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04000005072号	平成31年2月8日 令和8年2月5日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	熊本県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04200005072号	平成31年4月15日 令和8年2月26日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	長崎県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04103005072号	平成31年2月27日 令和8年2月26日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	佐賀県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	04500005072号	平成31年2月23日 令和8年2月22日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物	宮崎県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	03500005072号	平成30年12月2日 令和7年12月1日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	山口県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	03300005072号	令和1年11月5日 令和8年11月4日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	岡山県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	03200005072号	令和4年1月23日 令和11年1月22日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	島根県
産業廃棄物収集運搬業 （優良認定事業者）	03104005072号	令和1年11月12日 令和8年11月11日	汚泥・燃え殻・ばいじん・廃プラ・金属くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・ガラスくず及び陶磁器くず・廃酸・廃アルカリ・廃油・鉱さい・がれき類・13号廃棄物・石綿含有産業廃棄物・水銀使用製品産業廃棄物・水銀含有ばいじん等	鳥取県
特別管理産業廃棄物 収集運搬業 （優良認定事業者）	08860005072号	令和2年9月30日 令和7年7月11日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	大分市
特別管理産業廃棄物 収集運搬業 （優良認定事業者）	04452005072号	平成30年7月12日 令和7年7月11日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	大分県
特別管理産業廃棄物 収集運搬業 （優良認定事業者）	03450005072号	平成30年7月12日 令和7年11月30日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	広島県

許可名称	許可番号	許可年月日 有効年月日	許可内容	許可者
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	04050005072号	令和3年6月28日 令和10年6月27日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	04355005072号	平成30年9月3日 令和7年9月2日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	04253005072号	平成31年4月15日 令和8年4月14日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	長崎県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	04153005072号	平成31年2月27日 令和8年2月26日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	佐賀県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	04550005072号	平成30年8月20日 令和7年8月19日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	宮崎県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	03550005072号	平成30年6月29日 令和7年6月28日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	山口県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	03350005072号	令和1年11月5日 令和8年11月15日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	岡山県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	3250005072号	令和1年11月16日 令和8年11月15日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	島根県
特別管理産業廃棄物収集運搬業（優良認定事業者）	03154005072号	令和1年11月16日 令和8年11月11日	感染性廃棄物・廃油・汚泥・燃え殻・ばいじん・廃石綿等・鉱さい・廃酸・廃アルカリ・廃水銀等	鳥取県

（7）積替保管施設

所在地：大分市大字下郡字向新地3720番地の1

	廃棄物の種類	面積	容積
産業廃棄物	汚泥	6.72㎡	13.44㎥
	廃プラスチック類	1.00㎡	2.20㎥
	廃油	1.00㎡	2.20㎥
	水銀使用製品産業廃棄物	1.44㎡	1.728㎥
特別管理産業廃棄物	汚泥	1.00㎡	2.20㎥
	廃酸	1.21㎡	3.63㎥
	廃アルカリ	1.21㎡	3.63㎥
	廃油	1.00㎡	2.20㎥
	燃え殻	1.00㎡	2.20㎥
	ばいじん	1.00㎡	2.20㎥
	鉱さい	1.00㎡	2.20㎥
	感染性廃棄物	18.72㎡	44.92㎥
	廃石綿等	1.20㎡	1.80㎥
	廃水銀等	1.44㎡	1.728㎥

所在地：安芸高田市向原町戸島具路881番地1

	廃棄物の種類	面積	容積
産業廃棄物	ガラスくず・陶磁器くず・コンクリートくず	2.00㎡	2.00㎥
	金属くず	3.00㎡	3.00㎥
	紙くず・木くず・繊維くず	1.25㎡	1.25㎥
	廃プラスチック類	2.75㎡	2.75㎥
	汚泥	5.75㎡	5.75㎥
	燃え殻	1.25㎡	1.25㎥
	ばいじん・鉱さい	0.75㎡	0.75㎥
	廃酸	11.5㎡	11.5㎥
	廃油	5.75㎡	5.75㎥
	廃アルカリ	3.00㎡	3.00㎥
	水銀使用製品産業廃棄物	16.0㎡	16.0㎥
	水銀含有ばいじん等	1.75㎡	1.75㎥
特別管理産業廃棄物	廃酸	9.62㎡	9.62㎥
	汚泥	4.00㎡	4.00㎥
	ばいじん・鉱さい	1.25㎡	1.25㎥
	燃え殻	2.50㎡	2.5㎥
	廃油	5.75㎡	5.75㎥
	廃アルカリ	2.75㎡	2.75㎥
	廃水銀等	0.60㎡	0.60㎥

（8）運搬車両の種類と台数

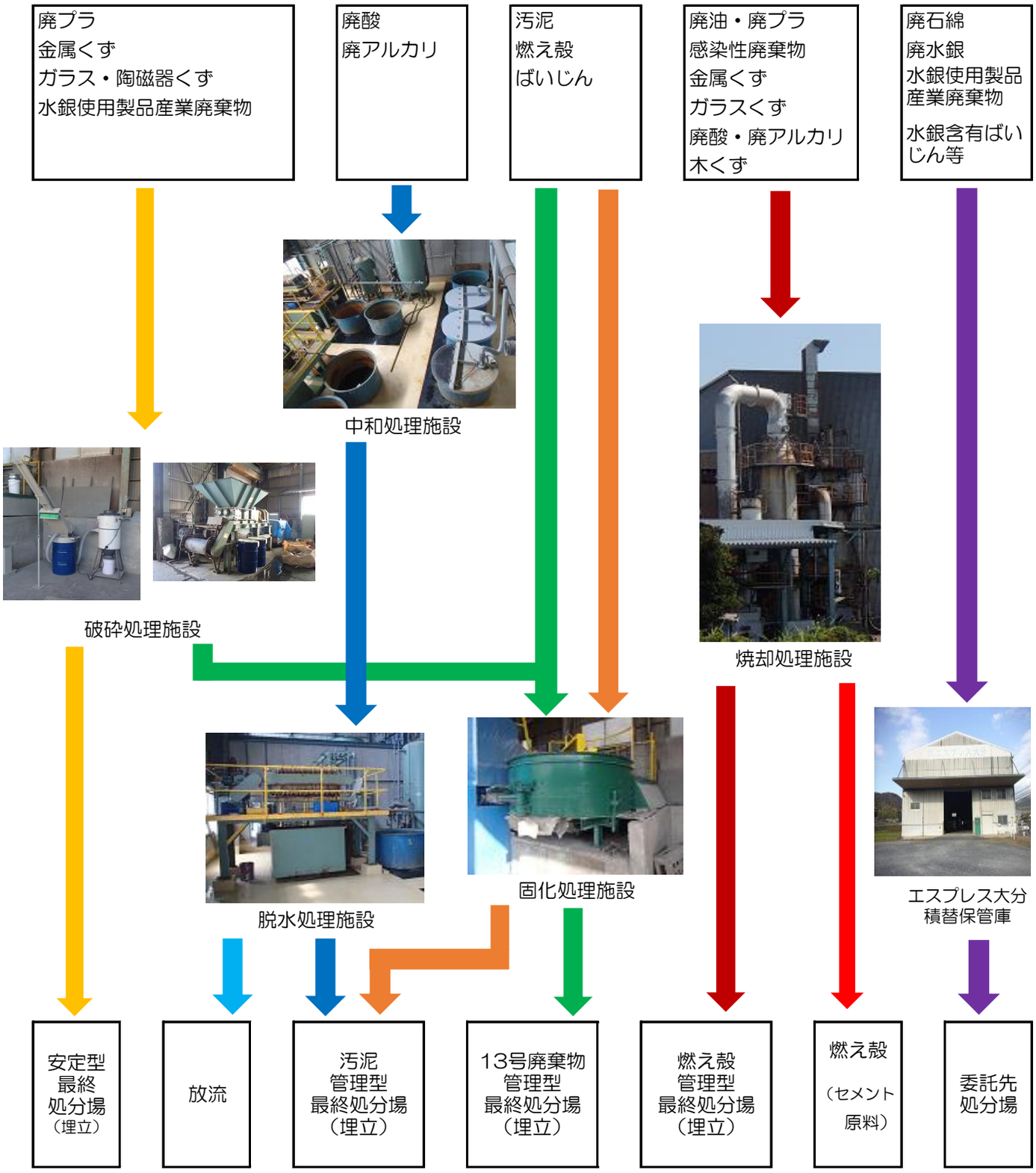
種類	台数	備考
14ｔウィング車	1 台	燃費基準達成車
9.5ｔダンプ	1 台	
5ｔユニック車	1 台	燃費基準達成車
4ｔダンプ	1 台	
1.8ｔバン（保冷車）	1 台	燃費基準達成車

種類	台数	備考
1.5ｔバン（保冷車）	2 台	
1.2ｔバン（保冷車）	2 台	燃費基準達成車
3.7ｔユニック車	2 台	
1ｔバン	1 台	
普通バン	1 台	燃費基準達成車

（9）処理施設

	施設の種類	設置年月日	処理能力	処理方式
1	汚泥の脱水施設	昭和61年10月1日	5㎥/日	加圧脱水
2	廃酸・廃アルカリの中和処理施設	昭和61年10月2日	20㎥/日	中和攪拌
3	廃プラスチック類等の破砕施設	平成12年2月21日	3.36ｔ/日	二軸破砕
4	ガラスの破砕施設	平成24年5月10日	4ｔ/日	ハンマークラッシャー方式
5	廃プラスチック類の焼却施設	平成13年12月10日	4.56ｔ/日	階段式炉床構造
6	その他産廃の焼却施設	平成13年12月10日	6.48ｔ/日	階段式炉床構造
7	金属・DXNを含む汚泥の固型化施設	平成28年11月22日	20ｔ/日	強制練り式
8	ガラスくず他（水銀使用製品産業廃棄物含む）の破砕施設	平成29年10月31日	4ｔ/日	ハンマークラッシャー方式
9	ガラスくず他（水銀使用製品産業廃棄物含む）の破砕施設	令和3年12月2日	1.2ｔ/日	ハンマークラッシャー方式

（10）廃棄物処理フロー図



収集運搬及び処理料金につきましては、種類・量・距離に応じて算出いたします
無料にて見積依頼シートでの御見積を承りますので、お気軽にお問合せ下さい。

２．環境経営方針

（1）基本理念

株式会社 エスプレス大分は産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の中間処理と収集運搬を行なっている会社であり、その中でも特に処理困難な特別管理産業廃棄物の処理処分に於いて法遵守は基より、的確な処理が行なえる体制の維持向上を企業理念とし、下記行動指針を全従業員に周知徹底して行動する。

（2）行動指針

① 中間処理・収集運搬業務において経営における課題とチャンスを明確化し、環境経営目標の継続的改善を図ります。

② 当社の事業活動に係る環境影響に考慮した次の項目を重点課題として取組みます。

1.エネルギー使用設備の効率向上と適正管理及びエネルギー（電力･Ａ重油･軽油･ガソリン）の使用量削減に取り組み、二酸化炭素排出量の削減目標を設定し、活動を推進する。

2.廃棄物の有効利用を図り、リサイクルを推進し、廃棄物発生量の削減を進めます。

3.化学物質の管理を徹底すると共に、工場で使用する化学物質の削減及び廃棄物での相殺処理を行ないます。

4.廃棄物の適正処理及び管理を行なうために社内勉強会や各個人のスキルアップのための技能講習会への参加を率先して行います。

5.エコアクション２１の趣旨を理解し、作業に反映させて行きます。

③ 環境関連に関する法令、県・市の条例その他の要求事項を遵守します。

④ この環境経営方針達成のため、環境経営目標を設定し、定期的に見直しを行うと共に、環境経営計画を作成し取り組みを推進します。

⑤ 環境経営方針は全従業員に対し、全体会議・文書・掲示板を通じて周知徹底を図ります。

⑥ 地域と連携した環境保全活動を展開し、積極的なコミュニケーションを図ります。

行動指針の前提として「整理・整頓」＋「身だしなみ」＋「明るい挨拶」を徹底します。

２００３年１０月２０日　制定
２０１４年０８月２９日　改定
２０２０年０９月０１日　改定
２０２３年０６月０５日　改定
２０２４年１２月０２日　改定

株式会社　エスプレス大分
代表取締役　尾形　嘉博

環境経営活動計画

１　環境マネージメント指標２０２４年度取組の結果

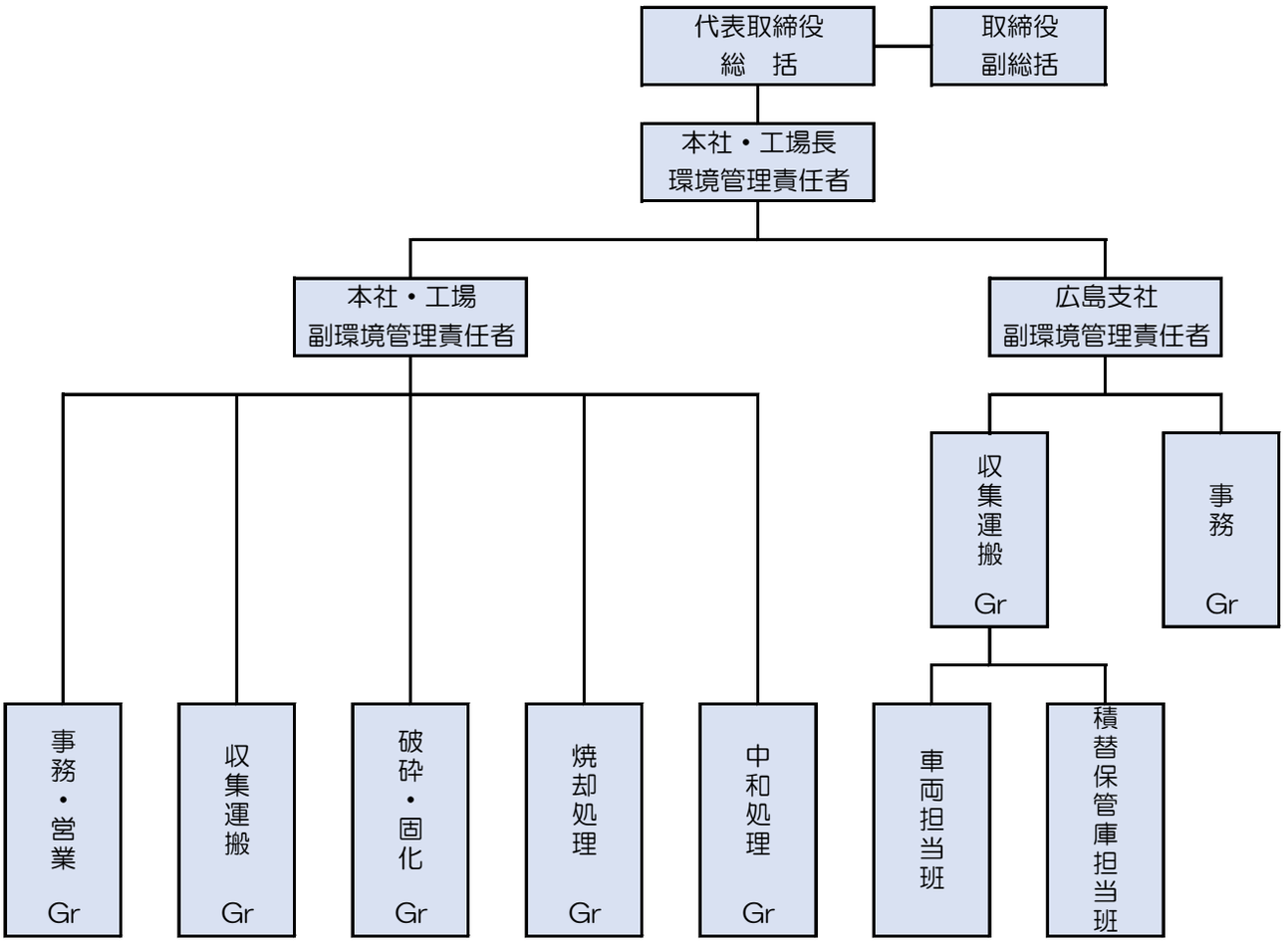
目標項目	実　施　計　画	判定
関係法令の遵守（廃棄物に関する）	①　事前のグループ会議で取組内容や各種ＥＡ関連管理目標の推進目標値に対する達成度評価及び問題点等を話し合って議事録を作成し、それを基に全体会議資料を作成、回覧、掲示し情報の共有を図る。	○
	②　台風接近などの環境上の緊急事態に対応するための作業手順書（緊急時）を基に訓練を実施する。また、様々なトラブル事例においてその原因究明対処方法の検証をグループ会議で討議し、その結果を全体会議で報告し、情報、問題意識の共有化を図る。	○
	③　関係法令が改正された都度、２ヶ月以内に講習会を行なう。	○
	④　作業を行う上で必要な専門知識や技能を向上させるための免許取得や技能講習会に出席させる。また、社内勉強会を開催し、各個人のスキルアップを図る。	○
	⑤　廃棄物の受入量をPCにて一括管理し、各部署にて情報を共有し保管上限量を超えないよう必要に応じて受入制限を行う。	○
自主基準の遵守	①　排出関連の自主基準管理として、最終処分場へ持ち込む汚泥、焼却灰の溶出試験を週１回、コンクリート固型化処理（１３号廃棄物）にあってはその都度溶出試験を行なう。	○
	②　焼却炉の自主基準管理として、一酸化炭素濃度の連続測定を稼働日に行なう。	○
	③　排水関連の自主基準管理として、公共用水域へ排出する放流水と雨水をＳＳ除去装置で処理した排水の分析を行なう。	○
	④　ダイオキシン類による排水汚染防止対策として、２ヶ月に１度二課廃液処理施設前側溝の洗浄と雨水受水槽内の汚泥の除去を行なう。	○
環境関連の広報及び利害関係者又は地域社会との協力	①　工場前道路や周辺の落ち葉やごみ等の清掃を行なう。また、工場周辺の緑地帯の清掃や最終排水口が繋がる側溝周辺の草刈りを実施する。	○
	②　産業廃棄物協会主催の地域清掃及び行政主導の環境関連行事へ参加する。	○
	③　外部からの苦情問題等が発生した場合は、対策完了後の直近の全体会議で報告し、問題意識の共有化を図る。	○
	④　外部からの情報や問い合わせは事務所内で共用ノートを作り、事務連絡事項を全員で確認する。	○
	⑤　営業情報、業務日誌を電子化し、情報の共有化を図って行く。	○
	⑥　服装・身だしなみ、明るい挨拶を心がけ外部の方に好印象を持っていただけるようにする。	○

２　環境マネージメント指標２０２５年度取組項目について

上記取組の継続とする、地域清掃及び環境関連行事については、新型コロナウィルス感染症対策のため２０２４年度も限定的だったが、徐々に緩和されてきている

今後も感染症対策を万全にし、積極的に参加していく。

３．環境管理組織体制



役割（役職）	責任･権限・使命		
総括 （代表取締役社長）	ＥＡ活動の基本方針を決定、活動全てを統括、必要な活動を指示、その結果及び進捗を把握、 重要事項の判断、決裁、見直し		
副総括 （取締役）	総括を不在時に代行		
環境管理責任者 （取締役工場長）	環境経営システム全体の構築、運用、維持及び総括への報告		
副環境管理責任者 （営業部マネージャー）	ＥＡ活動の企画立案、情報の収集、 教育の企画・推進、進捗状況を把握、 会議の記録、データの集計・管理、 ＥＡ環境活動レポートの作成維持・管理	副環境管理責任者 （広島支社長）	ＥＡ活動の企画立案、情報の収集、 広報活動、教育の企画・推進 進捗状況を把握
副環境管理責任者 中間処理Ｇ３グループ長	水道消費量・排水量の把握、 排水関連の適正処理	副環境管理責任者 （業務主任）	データの集計・管理、ＥＡ環境活動 レポートの作成・維持・管理
副環境管理責任者 収集運搬Ｇグループ長	産業廃棄物収集・運搬におけるエコ ドライブ等推進、車輌関連の整備 点検・燃費把握	収集運搬Ｇグループ長	ＥＡ環境活動レポート維持・管理、 産業廃棄物の再資源化推進、 各部門の草案に対する整理・管理・運営
事務･営業Ｇグループ長	産業廃棄物収集・処理量の把握、 コピー紙、Ａ重油・軽油受入量の把握	事務Ｇグループ長	コピー用紙使用量の管理、事務所内水道・ 電気の管理、グリーン購入の推進
中間処理Ｇ１グループ長	重機類の軽油消費量・燃費把握、 処理における適正処理、リサイクル	積替保管部門班長	積替保管物の管理、収集運搬量の管理 保管庫内・周辺の美化・管理、 水道水・電気管理、工具類の管理
中間処理Ｇ２グループ長	焼却炉関連の適正処理・保守管理、 CO濃度の把握、電力消費量の把握	収集運搬部門班長	運搬におけるエコドライブ推進、車両の整備 点検の管理・燃費把握、フォークリフト管理

４．環境目標

（1）本社工場は、経営体制の変わった2023年度を基本年度とし、それを基に環境目標を設定し取組んだ。
基本年度及び環境目標は以下の通りである。

項　　目		単　位	２０２３年度（基本年度）	２０２４年度（今年度）	２０２６年度（中期目標）
二酸化炭素排出量の削減	電力	処理量当たり	2.0	2.0	1.9
	Ａ重油	（kg-CO_2/ｔ）	200.0	200.0	190.0
	軽油	収集運搬・排出量当り（kg-CO_2/ｔ）	30.0	30.0	30.0
	総量	（kg-CO_2）	600,000	600,000	590,000
廃棄物排出量の削減		総量（ｔ/年）	7,200	7,200	7,200
産業廃棄物の再資源化		総受入量当たり（%）	4.0	4.0	5.0
紙使用量の削減（コピー用紙使用量）		総受入量当たり（枚/ｔ）	4.0	4.0	3.9
水道使用量の削減		延べ従業員一人当たり（m^3/人）	0.130	0.130	0.100

（2）広島支社も、2023年度を基本年度とし、それを基に環境目標を設定し、環境活動に取組んできた。
基本年度及び環境目標は以下の通りである。

項　　目	単　位	２０２３年度（基本年度）	２０２４年度（今年度）	２０２６年度（中期目標）
二酸化炭素排出量の削減	回収量当たり（kg-CO_2/ｔ）	49.6	47.2	47.0
産業廃棄物の再資源化	回収量当たり（%）	26.5	26.5	26.0
グリーン購入	総事務用品購入金額当り（%）	82.9	73.0	72.0
紙使用量の削減（コピー用紙使用量）	回収量当たり（枚/ｔ）	29.8	29.0	29.0
水道使用量の削減	延べ従業員一人当たり（m^3/人）	1.30	1.30	1.30

5．環境経営目標の実績

（1）環境への負荷の状況、2024年度実績値

	単位	本社工場	広島支社	備考
電力使用量	kwh/年	484,812.00	9,792.00	
（CO_2発生量）	kg-CO_2	232,709.76	3,227.71	
軽油使用量	L/年	19,625.30	10,627.93	
（CO_2発生量）	kg-CO_2	50,633.27	27,420.06	
A重油使用量	L/年	108,730.00	—	
（CO_2発生量）	kg-CO_2	294,658.30	—	
ガソリン使用量	L/年	5,886.10	2,011.84	
（CO_2発生量）	kg-CO_2	13,655.75	4,667.47	
上水使用量	m^3/年	564.60	118.86	
地下水使用量	$m^{3/年}$	8,368.20	—	
化学物質使用量（硫酸亜鉛）	kg/年	300.00	—	
資源使用量	t /年	180.56	—	
一般廃棄物排出量	kg/年	0.00	171.60	
産業廃棄物排出量	kg/年	852.72	—	うち再資源化量：61,150ｋｇ

（2）受託した廃棄物の数量

・ 2024年度の産業廃棄物収集運搬量

廃棄物の種類	単位	本社工場	広島支社
汚泥	t	160.00	211.5
燃え殻	t	12.90	8.0
ばいじん	t	0.10	0.1
廃プラスチック	t	175.40	184.7
金属くず	t	68.20	93.3
木くず	t	-	-
ガラス・陶磁器くず	t	23.30	11.1
廃酸	t	35.10	141.9
廃アルカリ	t	10.60	67.0
廃油	t	58.40	191.8
感染性廃棄物	t	568.00	0.4
廃石綿	t	0.14	1.6
廃水銀	t	0.01	—
合計	t	1,112.15	911.4

・ 2024年度の産業廃棄物中間処理量（本社工場）

廃棄物の種類	単位	処分量	うち再資源化量
汚泥	t	152.35	-
燃え殻	t	4.13	-
ばいじん	t	0.07	-
廃プラスチック	t	213.40	82.5
金属くず	t	59.68	4.6
ガラス・陶磁器くず	t	133.10	10.9
木くず	t	-	-
廃酸	t	37.40	1.1
廃アルカリ	t	12.70	1.9
廃油	t	75.20	32.5
感染性廃棄物	t	1,281.90	388.4
合計	t	1,969.93	521.9

・ 2024年度の中間処理後の産業廃棄物量（本社工場）

廃棄物の種類	単位	処理方法等	処分量
廃プラスチック	t	埋立	9
ガラス・陶磁器くず	t	埋立	89
汚泥	t	埋立	354
燃え殻	t	埋立	82
13号廃棄物	t	埋立	261
燃え殻	t	セメント原料化	59
ばいじん	t	セメント原料化	139
合計	t		993

6．環境経営目標の取組結果とその評価、次年度の取組内容

・ ２０２３年度二酸化炭素総排出量（全社）　420,533.540　ｋｇ-CO_2／年

（1）本社工場

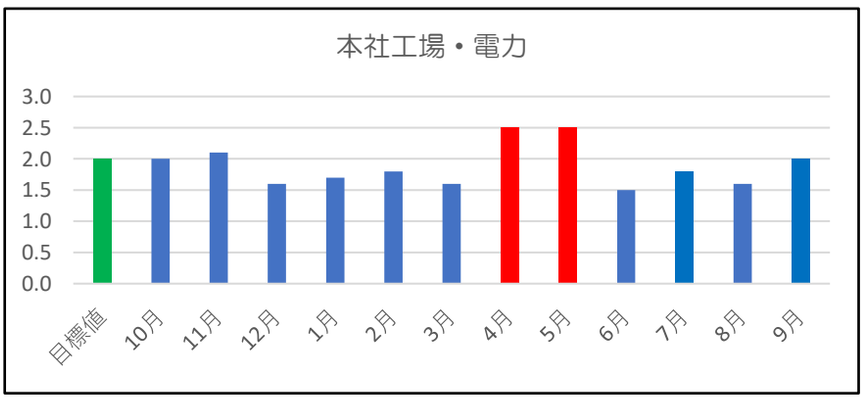
・ 二酸化炭素総排出量

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	総量	400,000	400,000	382,218
実績	kg-CO_2/年	399,030	389,514	382,218

・ 電力による二酸化炭素排出量

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	焼却処理量当り	2.0	2.0	2.0
実績	ｋｇ-CO_2/t	1.6	2.0	1.9

※電力係数　0.462



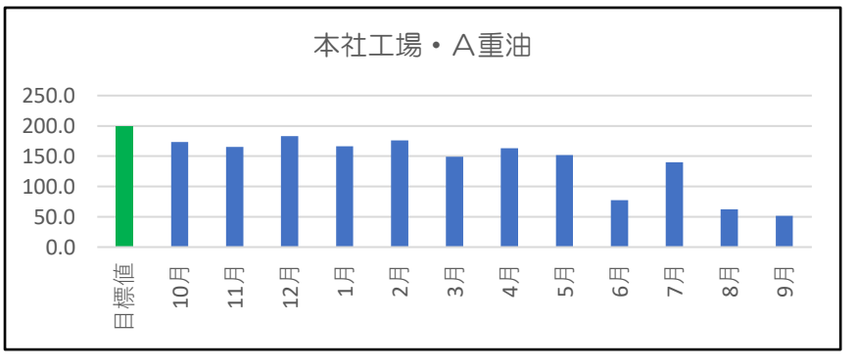
コロナ感染物の増加した月は目標未達成でしたが、年間を通しては目標達成できました。

来期も引続き取組を継続します。

・ A重油による二酸化炭素排出量

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	焼却処理量当り	200.0	200.0	200.0
実績	kg-CO_2/t	153.0	151.0	138.3

目標達成！



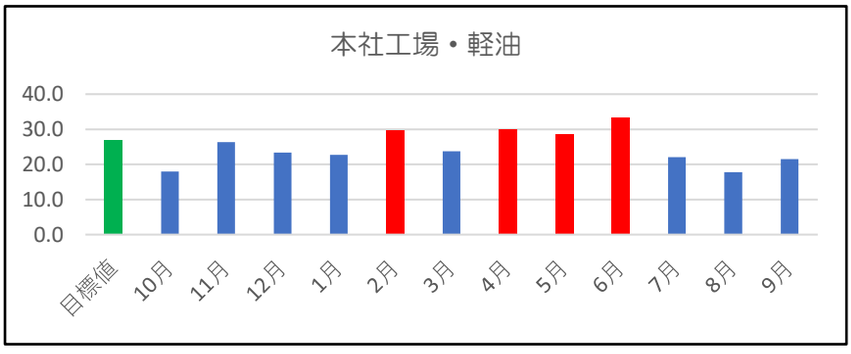
今年度は6月以降急激に下がっているが、異常燃焼が原因のため10月以降、数値が戻るよう改善しています。

異常燃焼がデータに反映されているため、来期は目標を変えず取組を継続します。

・ 軽油による二酸化炭素排出量

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	収集運搬・排出量当り	27.0	27.0	27.0
実績	kg-CO_2/t	23.9	23.7	24.8

目標達成！



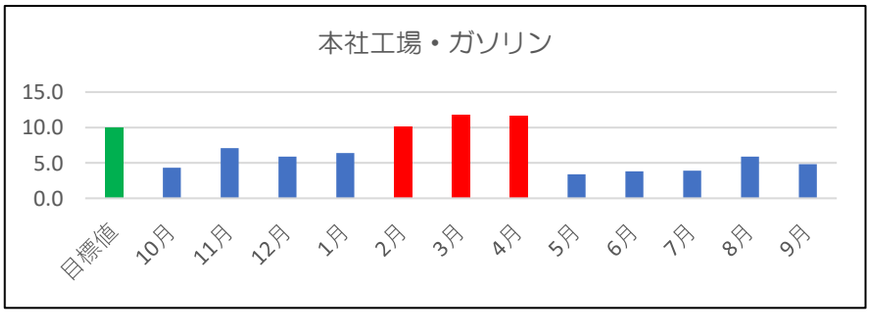
2月と4～6月は目標未達成ですが年間として目標達成できました。

来期も引続き取組を継続します。

・ ガソリンによる二酸化炭素排出量

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	収集運搬・排出量当り	10.0	10.0	10.0
実績	kg-CO_2/t	6.4	6.3	6.6

目標達成！



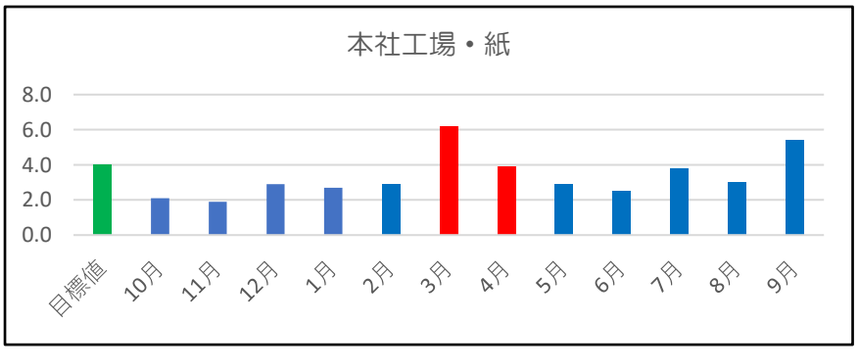
繁忙期は目標未達成でしたが、年間として目標達成できました。

来期も引続き取組を継続します。

・ 紙使用量の削減

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	総受入量当り	1.0	4.0	4.0
実績	枚/ｔ	2.6	4.2	3.4

目標達成！



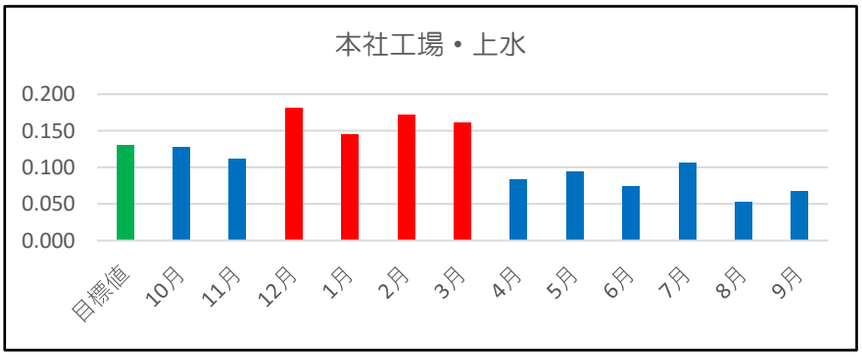
紙使用量増加に伴い、2023年度目標を見直し、新たな目標で取組んだ、システムの導入の成果もでて、目標達成することができました。

来期の目標は据置とします。

・ 水道使用量の削減

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	従業員1人当り	0.100	0.100	0.130
実績	㎥/人	0.130	0.120	0.115

目標達成！



工場で使用する井水を一部上水にしたため、昨年度目標の見直しをしました、新たな目標で取組、目標達成することができました。

年間通して達成できるよう引き続き取組を継続します。

・ 産業廃棄物の再資源化

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	総受入量当り	4.0	4.0	4.0
実績	%	4.1	4.2	5.5

目標達成！

リサイクル率の向上に努め、新たな取り組みを初め大きく目標を達成しました。
次年度以降も取組を続けていきます。

（2）広島支社

・ 二酸化炭素排出量の削減

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	収集運搬量当り	46.7	49.6	47.2
実績	kg-CO_2/t	49.6	47.1	39.2

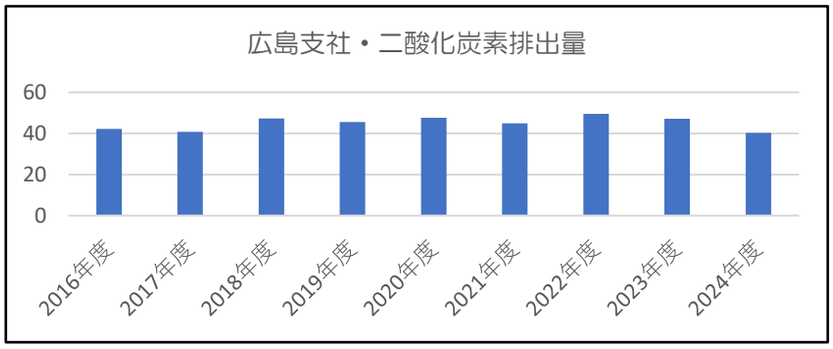
※電力係数　0.636

・ 電力による二酸化炭素排出量は目標達成しました。今年度は保管庫のブレーカーを落とす様にしたため良い数値となりました。

	電力	軽油	ガソリン
目標	6.9	32.6	7.7
実績	6.4	28.0	4.8

目標達成！　目標達成！　目標達成！

・ 電力、軽油、ガソリンともに目標達成しました
今後もエコ運転等の取組を継続し化石燃料の使用量削減に努める。



目標達成！

・ 紙使用量の削減

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	収集運搬量当り	28.7	29.8	29.0
実績	（枚/ｔ）	29.8	28.5	26.5

・ コピー用紙使用量は目標達成でした
中々ペーパーレス出来ない印刷物も多いが、裏紙・両面印刷等の取組を継続していきます。

目標達成！

・ 水道使用量の削減

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	従業員1人当り	1.20	1.30	1.30
実績	（㎥/人）	1.30	1.30	1.24

・ 水道使用量は目標達成でした
今後も引き続き取組を継続して行きます。

目標達成！

・ 産業廃棄物の再資源化

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
目標	運搬量当り	25.8	26.5	27.9
実績	（%）	26.5	31.5	40.3

・ 産業廃棄物の再資源化は目標達成しました。要因として大口顧客で約120ｔ程リサイクル物が増えたことが大きいです。

7．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

・ 法令違反の有無

適応法	法律	適応内容	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第300号	金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める総理府令	適合
	第12条	収集運搬車両の表示	適合
	第12条	産業廃棄物管理票交付者は、交付したマニフェストの写しを5年間保存しなければならないこととする。	適合
	第13条	産業廃棄物管理票に所定の事項を記載した後、定められた期間内に交付者や処分業者へ管理票の写しを送付・回付すること。	適合
	第14条	産業廃棄物の処分を業として行なおうとする者は、当該業を行なおうとする区域の都道府県知事の許可を受けなければならない	適合
	第14条	産業廃棄物収集運搬業者、産業廃棄物の処分業者は、産業廃棄物処理基準に従う	適合
	第14条	産廃の収集運搬業者は、収集若しくは運搬又は処分を、処分業者は、処分をそれぞれ他人に委託してはならない	適合
	第17条	産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する技術上の業務を担当させるため、環境省令で定める資格を有する技術管理者を置かねばならない。	適合
ダイオキシン類対策特別措置法	第100号	ダイオキシン類に係る排ガス及び排出水に関する規制	適合
大気汚染防止法	第97号	ばい煙発生施設	適合
水質汚濁防止法	第138号	排水基準を定める省令	適合
騒音規制法	第6条	特定施設の設備	適合
浄化槽	第3条	法定検査	適合
フロン排出抑制法	第86条	フロン類使用の適正化に関する措置	適合

・ 上記のとおり、本社工場に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませでした。

・ 広島支社も環境関連法規に関する違反はありませんでした。

・ 苦情、訴訟の有無

本社工場、広島支社ともに関係諸機関及び利害関係者からの指摘事項、苦情等はありませんでした。

８．代表者による全体評価と見直しの結果

（1）環境経営方針の見直し

取組組織の改編を行ったが、基本理念である法令遵守による廃棄物の適正処理に変りはなく、次年度以降も引き続き取り組んで行く。

（2）行動指針

全組織で行動指針に準拠したエコアクション２１活動を行なう、今期は特に事故もなく概ね良好だった。今年度新たな取組の成果としてリサイクル率が大幅に向上しているので次年度以降も引続き向上できるように、分別の精度を上げていくようにする。

（3）環境経営目標

次年度は本社工場、広島支社ともに数値目標の見直しは行わない
本社・広島支社ともに基本理念である法令遵守による廃棄物の適正処理と環境目標達成の両立をしていくために、全ての人員が知恵を出し合い目標を達成していく。

（4）環境活動計画

今期も新しい取り組み目標があった、常に目的意識をもって、それに対応した環境活動評価プログラムを作成し、実行して行く。

（5）環境経営システム

各Ｇｒ事の取り組みや全体での意思共通、ＰＤＣＡサイクルはうまくいっていると考える、次年度以降も各人で知恵を出し新しい形での推進を進めて行く。

株式会社　エスプレス大分
代表取締役　尾形　嘉博

９．環境への取組の記録

（1）本社工場

近隣地域のゴミ拾い活動を毎月行っています。

地域の美化に貢献出来るよう真剣に活動を行いました。 今後も地域の美化に貢献していきます。

（2）広島支社

積替保管施設周辺のゴミ拾い活動を毎月行っています

夏季には、草刈活動も行いました、今後も地域の美化活動に取組んでいきます。